

生徒指導部通信

令和5年度第4号
令和5年12月18日
文責 長谷川 楓

■ 「習慣化」って素晴らしい

夏季略装の期間が終わり、2ヶ月が経ちました。今年も残りわずかです。みなさん、シャツのボタンは一番上まで閉まっていますか？膝頭は寒がっていませんか？身だしなみとは、相手や周りを嫌な気持ちにさせないためのマナーです。そこで大切なのは、「自分がどうしたいか」ではなく、相手や周りが「あなたを見てどう感じるか」ということです。高校を卒業すると、その服装（マナー）を正してくれる人は少ないです。出来て当たり前と思われていることが多いでしょう。今のうちに、「これなら採用したい」「仕事を任せたい」「信頼できそう」と思われるように、身だしなみを整え、清潔感のある恰好でいる習慣を身に付けていきましょう。習慣化してしまえば、みなさんのスキルとして身に付き、役に立つ時が来ます。服装に限らず、様々なスキルを自分のものとして身に付けられるように、習慣化を目指しましょう。「習慣化」って素晴らしい。

<特に注意してほしいこと>再度掲載

- シャツの裾、ボタン、ネクタイ・リボンを緩めない。シャツのボタンは一番上までかける。
- 職員室入室時にはシャツ・ネクタイ・リボンをチェックし、きちんとした状態で入室すること。
- スカートの裾は膝頭の範囲に収める。
- 化粧は認めない。
- ピアスや樹脂ピアス、指輪、ネックレス等の装飾品をつけない。

みんなでルールを守って楽しい学校生活にいきましょう！



■ 「自立」とは何か

みなさん、「自立」とはどのような意味でしょうか。誰の助けも借りずに一人で生きていくこと？はたしてそれが本当に自立していると言えるのでしょうか。辞書によれば、自立の反対語は「依存」でした。英語だと、自立は in-dependent、すなわち非依存という意味です。次の画像をご覧ください。



【自立心がないとこんな大人になる】

- ① 「自分で判断できない」
人の指示がないと行動できない人になり、自分で情報を整理して判断しなくてはいけないシチュエーションにぶつかった時に上手くいかないでしょう。
- ② 「すべて人任せ」
困難な状況にぶつかっても自分で解決できない、協働できない、大きな壁が立ちはだかっても乗り越えようとならないなど、人生で何かにつづったときに対処できなくなります。 など

今の自分はどうでしょうか。自分のことを棚に上げて他人のせいにしていませんか。ぜひ振り返ってみてください。そして、「自立」とは何か探し続けてください。を見つけるためのヒントは、日常の中にたくさん転がっていますよ。